

第20回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

8月18日

グループリーグ3回戦	天候	晴	風	弱	ピッチの状態	芝良好
	気温	28℃	湿度	77%		
<div> <div> コンサドーレ札幌ユース（U-15）1 </div> <div> <div> 1 — 1 </div> <div> 0 — 0 </div> </div> <div> 2 ヴェルディジュニアユース （関東4） </div> </div> <div> <div> 得点者 安藤 3分 </div> <div> 延長 </div> <div> 得点者 和田 6分 和田 82分 </div> </div>						

シ ス テ ム	シ ス テ ム
4-4-2	4-3-3

ヴェルディ選手の体調不良を考慮し、一日順延となった決勝トーナメント第1戦開始のホイッスルがなった。コンサドーレの先発はリーグ第3戦と同じメンバー。2日間の休養で、ベストコンディションとなったのか、是非ともベスト8に進出したいところだ。そんなゲームの序盤、先制点はコンサドーレ。3分本間から鶴野へ、スピードあるドリブルで駆け上がり、ゴール中央に高めのクロス。安藤が頭であわせた鮮やかな得点だった。

しかし、これで目が覚めたのか、すかさずヴェルディ和田が巧みなドリブルで、コンサドーレDFを抜き去り、ゴール右スミにインサイドキックで狙いすましたシュートは、右サイドネットを揺らした。立ち上がり5分で両チームに得点が入り、仕切り直しと言ったところか。ヴェルディ14分、ゴール前25メートルでFK。しかしシュートは大きくはずれる。

コンサドーレ24分打矢が前線のディフェンスでボール奪い、ゴールへ向かうがシュートまではいかない。25分にも安藤のクロスのこぼれ球を詰め切れない。コンサドーレにリズムが出ない。ヴェルディのアプローチもそんなに早いとは思えないが落ち着いてボールポゼッションができない。単調なボールが縦へ縦へ入り、トップで溜を作ることができない。

ペースが作れないままに前半が終わった。後半から打矢に代わり古田が入った。第3戦よりも早めの交代だがベンチとしては古田のキープ力で中盤を有利にしたい考えだろう。玉岡をワントップに据える布陣で勝ち越したいところだ。

しかし、後半立ち上がりピンチが続く。DFのコミュニケーション不足、DFライン間の不容易な横パスなどから2本のコーナーキックが続くも、何とか凌ぎきる。43分ヴェルディGKのクリアが真上に上がったところを、古田がコントロール。

ドリブルで一人をかわし、クロスを入れる。待ちかまえていた玉岡。しかし、当たり損ないのシュートはボテボテでGKの手の中へ。その後も一進一退のゲーム展開となるが、少しずつコンサドーレのボール支配率が上がってくる。

20分左から切れ込まれクロスをあわされたが、コントロールミスに助けられクリア。46分、47分と立て続けにシュートを打たれるが、体を張って得点を与えない。58分玉岡に代え、平井を投入して前線に活力を与える。

その直後、ヴェルディのコーナーキック。最も危険な選手の和田にビタリと照準があったが、右ポストを僅かにはずれ守りきる。1-1のまま延長戦に入る。延長前半どちらも決めて手を欠気終了。いよいよ勝負の延長後半10分が始まる。

開始早々ヴェルディ9番佐藤が強引に左サイドを引き裂き、ゴール前にボールを送る。コンサドーレ一度はクリアをしたが最後は点取りやの和田の前にボールがこぼれ、難なく勝ち越し点を入れる。追いつきたいコンサドーレは菅原・山崎を入れ反撃にでる。リードしたヴェルディは追い風ということもあり、難しいことはせずにロングキックで逃げ切る作戦にでる。

焦るコンサドーレ、疲れが足にくる。終了間際ヘディングの競り合いから安藤が負傷退場。大地を投入するが、時間が無い。最後は、竹内が前戦へボールを送ったところで無情のホイッスル。残念コンサドーレ、惜敗コンサドーレ。

戦 評 加 藤 孝 俊